

令和4年度学校評価アンケート等の意識調査の実施について

令和4年4月 高知市立南海中学校

1 令和4年度に実施するアンケート

	アンケート類	対象	実施月	主担当者
(1)	学校評価アンケート	生徒, 保護者, 教職員, 地域	11月	校長(廣瀬)
(2)	授業評価アンケート	生徒	6月・11月	研究主任(鈴木)
(3)	学校生活意識調査(旧夢プロ)	生徒	6月・11月	教頭(西森)
(4)	組織力向上アンケート	教員	6月・11月	主幹教諭(松岡靖)
(5)	学校生活アンケート	生徒	随時	生徒指導主事(刈谷)

※ この他にも避難訓練や学校行事の実施後にアンケートを実施する。

2 各アンケートの趣旨

(1) 学校評価アンケート

生徒自身の成長や状況について、生徒本人・保護者・教職員・地域が評価する質問を多く設定する。また、四者の回答結果を比較することによって、意識の違いや共通点等を比較し、今後の教育活動に活かす材料とする。さらに、アンケート結果は、一部のものを除いて積極的に公表し信頼につなげる。

(2) 授業評価アンケート

授業について、教科別・学級別に生徒の意識を調査することで、授業改善に生かす。質問項目は、①授業は理解できるか、②授業で学びあっているか、の2項目。

国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、保健体育(男女別)、技術、家庭、道徳について実施する。

(3) 学校生活意識調査(旧夢プロ)

学校生活全般について、生徒の意識を聞くアンケート。経年比較を行い、推移を分析する。全21項目。

(4) 組織力向上アンケート

教科指導や学校組織への参画について、教員を対象に行うアンケート。

(5) 学校生活アンケート

いじめを発見することを目的としたアンケート。定期的に行うものと、必要に応じて行う場合がある。アンケートを行ったその日に目を通し、原則、その日のうちに対応する。

3 学校評価アンケートの詳細

(1) 実施概要

項目 対象	質問項目			実施日	実施方法	集計方法	
	市共通	南海中独自	記述				
(1) 生徒用	4問	6問	なし	11月下旬	Google Form	自動集計	
(2) 保護者用	すぐる	5問	9問	2問	11月下旬	アンケート機能	自動集計
	封書	5問	9問	2問	11月下旬	用紙に記入	手作業
(3) 教職員用	5問	2問	なし	11月下旬の職員会	校務支援システム他	自動集計	
(4) 地域用	2問	5問	2問	11月下旬	用紙に記入	手作業	

(2) 学校評価アンケートの実施にあたって

- ① 生徒用は、設定した期間中の学年で決めた時間に、Classroom「全校 Online」内にあるアンケートに返信する形で行う。(回答に要する時間は7～8分程度)
- ② 生徒用に関して、同期間中に「**授業評価アンケート**」「**学校生活意識調査**(旧夢プロ)」も行う。いずれも所要時間は7～8分であるので、まとめて行うか、分けて行うか、各学年で実施日を決めておく。
- ③ 保護者用は、次の通りとする。(昨年度と同じ方法)
 - ㊦ 全学年、すぐーるのアンケート機能を利用する。
 - ㊧ すぐーるに登録していない家庭には、用紙を配付し回答してもらう。(4月段階で2-1のみ該当)
 - ㊨ きょうだいがいる場合は、すぐーるを子ども数送信し、それぞれの子どもについて回答してもらう。
- ④ 教職員用は全教職員を対象とする。校務支援システムを利用できない職員は、用紙で回答する。

(3) 学校評価アンケートの分析・活用

- ① 生徒用、保護者用、教職員用について、意識の違いや共通点等を比較し、今後の教育活動に活かす。
- ② 高知市共通質問について、過去からの推移を確認し、今後の指導や対応の方向性を明らかにする。
- ③ 生徒用、保護者用、地域用(学校便りで公開済)は結果を公開する。
- ④ アンケート結果を、学校評価書における自己評価の材料とする。